

第5章 小学校区域ごとの各地域の取り組み

地域福祉活動計画の基本理念、基本目標を実現するためには、各地域において、地域住民がつながり、地域の生活課題の解決に向けて取り組みを進めていく必要があります。

本計画では、地域住民や各種団体が参画し、地域の実情に応じてさまざまな地域福祉活動を展開している「校区福祉委員会」のエリア（9小学校区・11地域）を地域の単位としています。

なお、令和4年（2022年）4月1日以降の各校区での活動計画（アクションプラン）の策定にあたっては、下記の通り、令和2年（2020年）度～3年（2021年）度にかけて各校区福祉委員会で議論を行いました。令和4年（2022年）度から令和7年（2025年）度までの4年間の活動の指標となります。

令和2年	9月	市民アンケート調査（交野市事務局）（7～25日）	
	10月		
	11月	地域懇談会※意見集約アンケート調査 ・各校区の委員等に意見を募集し、集約して、各校区にフィードバックを実施	➡ 長宝寺小学校区地域懇談会（27日）
	12月		※新型コロナウイルス感染症の状況に配慮し、その他の校区での懇談会開催を中止
令和3年	1月	各校区説明会（社協事務局） ・アクションプラン策定の方法とアクションプランの様式について	
	2月		
	3月		
	4月		
	5月	各校区アクションプラン編集 ・「地域のよいところ」「地域にあったらいいな・できたらいいな」の編集	
	6月	※新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急事態宣言発令等に伴い、各校区の状況や委員会・役員会の時期に合わせて実施。	
	7月		
	8月	各校区アクションプラン策定 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急事態宣言発令等に伴い、各校区の状況や委員会・役員会の時期に合わせて実施。	
	9月		共有 ➡ 校区福祉委員会委員長会議（17日）
	10月		
	11月		
	12月		共有
令和4年	1月	校区福祉委員会委員長会議（21日）	・アクションプラン（完成版）の共有
	2月	交野市地域福祉活動計画策定・推進委員会（28日） ・地域福祉活動計画及びアクションプラン成案	
	3月		
	4月	アクションプランに基づく地域福祉活動の推進	

交野みらい校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

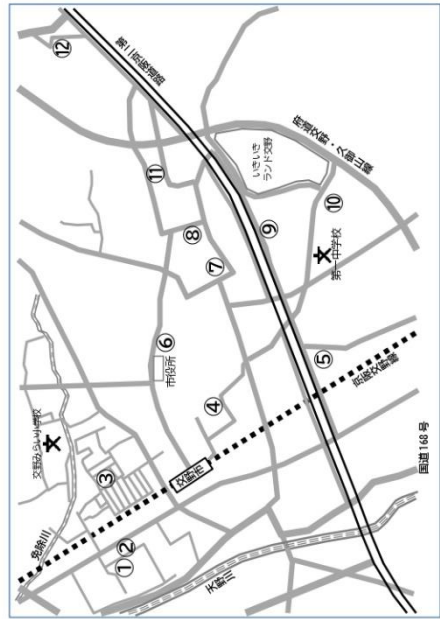
市のほぼ中央部に位置し、市役所や郵便局、商店街等主要な拠点がある。青山、梅が枝、駅前、私部、郡津、向井田の6つの区で構成されており、校区内には線路・高速道路が走っている。買い物や交通アクセスが便利な一方、広域であるため、連携がとりづらい側面もある。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数は令和3年8月末日現在)

人口	16,066人	世帯数	7,267世帯
高齢者人口	4,660人	要介護(要支援)認定者数	1,006人
高齢化率	29.0%	身体障害者手帳所持者※	322人
6歳以下人口	893人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	782人		

地域の拠点マップ

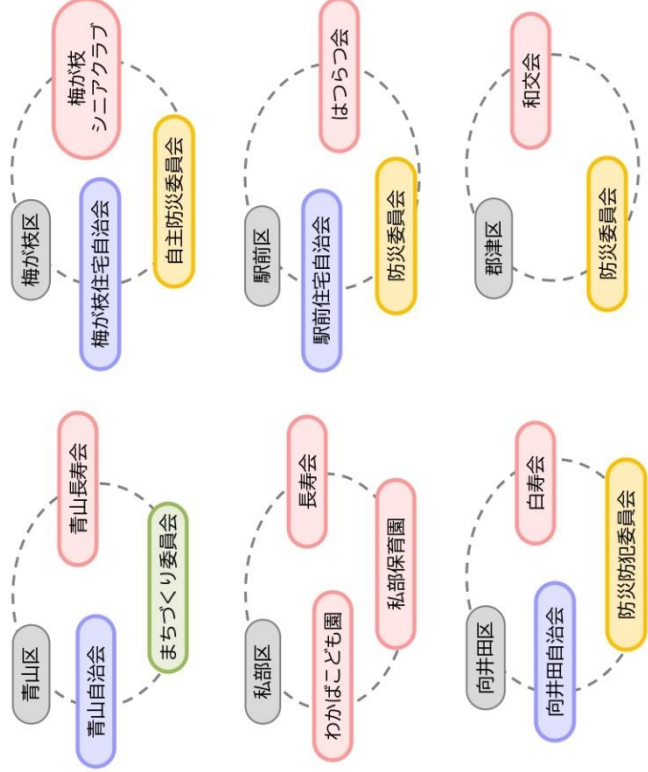
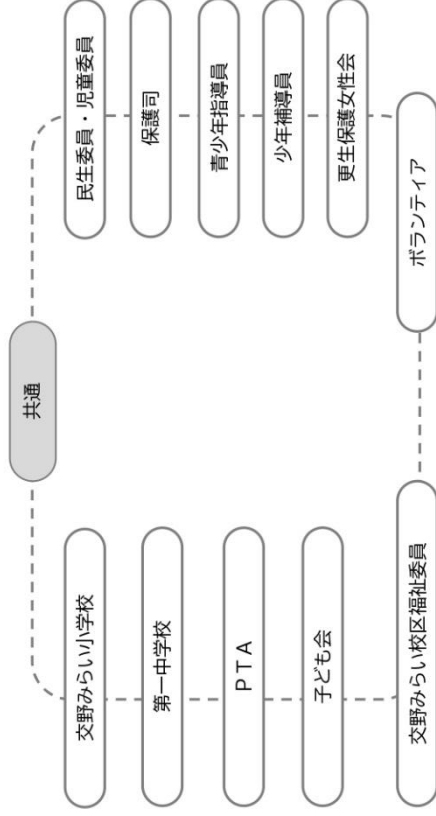


《拠点等》

- ①府営梅が枝住宅集会所
- ②府営梅が枝住宅第二集会所
- ③交野駅前住宅自治会集会所
- ④交野市地域子育て支援センター
- ⑤介護老人福祉施設 サール・ナートかたの
- ⑥わかばこども園
- ⑦私部会館
- ⑧私部保育園
- ⑨向井田集会所
- ⑩私部公園
- ⑪青山自治会集会所
- ⑫介護老人保健施設 青山

地域の組織図

自治 ● 福祉 ● 防災防災 ● まちづくり



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
グループ活動	いきいきふれあいサロン（梅が枝集会所）	地域の高齢者	毎月第1火曜日 14:00～
	いきいきふれあいサロン（駅前集会所）		毎月第1火曜日 14:00～
	いきいきふれあいサロン（私部会館）		毎月第3金曜日 10:00～
	子育てサロン（交野みらい小学校）	0歳～未就園児の親子、妊婦	年3回
	子育てサロン（私部会館）	地域の高齢者	月1回
個別活動	お食事会（梅が枝・駅前・私部）	食事、交流	年1回
	ふれあい映画会（梅が枝・私部）	映画鑑賞	（梅が枝）年1回 （私部）年2回
世代間交流	あいさつ・声かけ運動	校区の児童	
	友愛訪問	校区の独居高齢者、サロンの参加者等	適宜
	友愛電話	見守り・安否確認	適宜
	友愛チラシ		適宜
世代間交流	わかば子ども園と高齢者の交流	私部保育園と高齢者の交流	
	昔のあそび	昔の話	校区探検
	花いっぱい運動	6年生と清掃奉仕	おはなし会
	お米づくり（田植えから稲刈りまで）		など



私たちの地域（旧交野小学校区）

地域のよいところ

- 文化、伝統が守られており、地域活動も活発である。
（住吉神社、秋祭り、大とんど、十日戎、ささいべ祭りほか）
- 市役所、駅、スーパーがあり、生活が便利。
- 多様な経験をもつ人材の宝庫である。
- 隣近所の交流や助け合いが活発な地域なので暮らしやすいと感じている人が多い。
- 困った時にどんな問題でも相談できるところがあると回答した人が多い。
- 地域の取り組みとして、災害や防災対策に参加や手助けができると回答した人が多い。
- 高齢者や障がいのある人が暮らしやすい町としての評価が高い。

地域のあったら良いな・できたらいいな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人でも地域活動を知れる機会があれば嬉しいな。 ○福祉の体験授業の機会があればいいな。 ○年配、ご老人が若い世代に過去の事、遊びを教える場があればいいな。 ○ファンポイントボランティア活動ができるといいな。 ○ボランティアで活動されている方が高齢化している。50歳、60歳の方々の協力を得られるような、交流できる広報活動が必要ではないか。 ○交野は歴史にまつわる人が多い町なので、子どもの頃から学べたらいいな。 ○放課後の学習指導などで地域の方の力を借りられるといいな。 ○菜園活動の講習隊（野菜の育て方、米作り、花の育て方）。 ○地域の人と関わる機会を増やせるといいな。（校区探検など） ○災害などがあつた時に近所で助け合えるように、日々コミュニケーションを取れるような環境があればいいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動隊、見守り運動隊、子どもの見守り活動が充実するといいな。 ○高齢者世帯（夫婦二人、一人暮らし）が少しでも健康で元気が出るきつかけがあればいいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人たちと子どもたちの交流の場が増えるといいな。 ○交野で育つた子どもたちが交野を好きに、交野に誇りが持てるようになつてほしい。交野だからできる取り組み、地域で育てる。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○防災、防犯セミナー。 ○防犯対策を強化できたらいいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○交野の良いところを市民に興味を持ってもらえるように、フォトコンテストや地域、歴史のスタンプラリーなどのSNS上でのイベントができるといいな。また、この企画を小中学生や高校生が運営できるといいな。
その他	

私たちがの地域 (旧長宝寺小学校区)

地域のよいところ

- 交通機関やスーパー、医療施設、介護事業所もあり、利便性が高い。
- 長宝寺小学校区を暮らしやすいと感じている人が多い。
- 日頃から子どもの登下校の見守り、あいさつや声かけ等大切だと感じている人が多い。
- 民生委員による住民活動が活発で、民生委員の認知度が高い。
- 世代間交流が活発に行われており、子どもたちと高齢者が交流する機会がある。
- 福祉サービスの情報をSNSなどインターネット・メディアで入手している人が多い。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○近くに通える集いの場がたくさんあればいいな。 ○地域活動に男性も参加できたらいいな。 ○現役世代の参加が増えるといいな。 ○気軽にたくさんの方が交流できるようなイベント、場所ができるといいな。 ○世代間交流として地域の人から子どもへ教える(授業)「ちえの輪」ができたらいいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校が拠点となったまちづくりができたらいいな。 ○地域の集いに小学校が使えたらいいな。学校の活用。 ○長期休暇の子どもが集える場所ができるといいな。 ○ラジオ体操ができるといいな。学校を開放して朝から体を動かせる。避難場所としての意識付けもできるといいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○共働き世帯の子どもたちが見守られていいな。 ○子どもの可能性をのばす、見守れる地域になるといいな。 ○統合後、通学中中学生が小学生を見守れたら安心。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの可能性をのばす。地域の人としての成長ができるといいな。 ○忙しい家庭への支援ができるといいな。親子の時間を持てるように、親子でリフレッシュできるようなことがあればいいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時に中学生、小学生の手助けができるといいな。 ○防災の点から一人暮らしの人が気になる。 ○災害時の対策。個人情報にとらわれず隣近所で助け合える体制。 ○防災力に中学、高校生の力を借りることができたらいいな。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者がSNSを使えるようになればもっと情報が入るかも。 ○学校行事の案内(運動会)について子どもたちがチラシを配れたらいいな。 ○集いの場に来れない人への支援ができるといいな。 ○何事にも参加すること。参加すると地域のことが見えてくる。

私たちがのアクションプラン

交野みらい校区の目標

地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせる 明るいまちづくりをめざします

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のころを育む

- 地域であいさつ・声かけ運動を継続し、見守りの輪を拡げよう
- 米づくりや花いっぱい運動などの土に触れる体験を通して、多世代交流を行い、郷土愛を育もう
- 世代間交流などを通して、ともに生きる力を育み、『子ども発』で大人も一緒に学び、多様な人との交流や地域の良さを和知る機会をつくろう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- サロンの参加者名簿を作成し、見守り・安否確認につなげよう
- 地域の医療機関、福祉事業所などの協力を得て、勉強会を開き、サロンの活性化や近隣で気軽に相談できる場所につなげよう
- 校区福祉委員に向けた、福祉に関する学びの機会をつくり、見守りの目(芽)を育もう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- SNSなどを活用して、校区福祉委員会の活動を多世代に知ってもらおう
- 小・中学生が校区福祉委員会で活躍できる仕組みをつくろう
- 地域住民がもつそれぞれの強みを活かし、地域の活性化につなげよう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 高齢者の交流できる場をつくり、見守り合える関係づくりにつなげよう
- 夏の居場所づくりを継続し、多世代交流や相談、見守りにつなげよう
- 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるような仕組みを考えよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 各区や消防団、地域の福祉事業所などの協力を得て、防災・避難訓練などを行い、つながりを深めよう
- 子どもから大人まで、全世代を対象とした、防災・防犯意識を高める取り組みをしよう

倉治小学校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

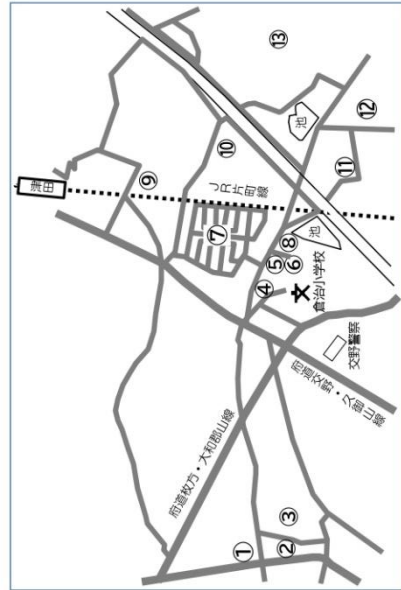
市の北部に位置し、倉治、東倉治、神宮寺、浜の池で構成され、かつての農村地帯に住宅開発がすすみ、歴史ある古い町並みと新興住宅が混在している。「これからもずっと倉治で暮らしたいと思える町づくり」を基本に、町委員・福祉委員・民生委員児童委員協議会・さんゆう会・自主防災会など、それぞれ団体が協力し合いながら、福祉活動を展開している。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数等は令和3年8月末日現在)

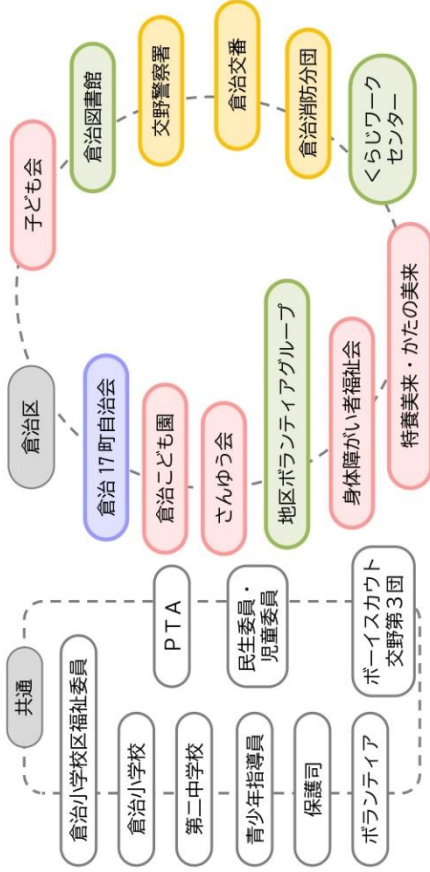
人口	10,478人	世帯数	4,298世帯
高齢者人口	2,610人	要介護(要支援)認定者数	427人
高齢化率	24.9%	身体障害者手帳所持者※	155人
6歳以下人口	720人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	675人		

地域の拠点マップ



- 《拠点等》
- ①特別養護老人ホーム美来
 - ②東幾野ふれあい館
 - ③カンガルー公園
 - ④倉治公民館
 - ⑤いこいの郷
 - ⑥倉治児童公園
 - ⑦東田中央公園
 - ⑧倉治子ども園
 - ⑨ひかりの子幼稚園
 - ⑩山手集会所
 - ⑪くらじワークセンター
 - ⑫倉治公園・倉治グラウンド
 - ⑬特別養護老人ホーム かの美来

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
いさいきサロン	絵手紙・パッチワーク・健康麻雀・ちざり絵など	倉治区の高齢者	(いこいの郷) 毎月第1木曜日 (山手町集会所) 毎月第2木曜日 (東幾野ふれあい館) 毎月第3木曜日
子育てサロン	演奏会・人形劇など	倉治区の幼児と保護者	毎月第4水曜日 (東幾野ふれあい館) 毎週月曜日
共生型サロン	工作・散歩など	倉治区の方	毎月第3日曜日 (東幾野ふれあい館) 毎月第1木曜日
歌声喫茶	カラオケ・おしゃべり	倉治区の高齢者	夏休み中 不定期
公式輪投げ教室	公式輪投げ大会	倉治小学校在校生	(大仏町集会所) 毎月第2・4金曜日 (東田町集会所) 第5除く毎週水曜日 (山手町集会所) 毎週水曜日
くらじっ子夏の家	勉強会・ボール運動	倉治小学校在校生	(東幾野ふれあい館) 毎月第1・3・5金曜日/第2・4木曜日 (栄町集会所) 毎月第1・3水曜日 (特養美来ホール) 毎週水曜日
元氣アップ体操教室	元氣アップ体操など	大仏町の高齢者	
※祝日は休み		東田町の高齢者	
		山手町の高齢者	
		東幾野の高齢者	
		栄町の高齢者	
		特養美来の入所者他	

世代別交流

- 倉小ふれあい広場 ・ 倉小1年生との交流会 ・ かの郷土史かるた会
- 倉治子ども園との交流会 ・ あいさつ・声かけ運動 ・ 倉治小学校青バト見守り



▲倉小1年生との交流会



▲くらじっ子夏の家



▲かの郷土史かるた会

私たちの地域

地域のよいところ

- シルバー世代が元気に活躍している。老人会も活発で全国的にも注目されている。
- 区の組織がしっかりしており、区を中心に様々な団体がまとまっている。
- 自然が多く残っており、子どもたちの成長にはすばらしい環境がある。
- 人のつながりを大事にし、隣近所・地域の困りごとを助け合うことができる人が多い。
- 防災・防犯意識が高く、地域として取り組む必要があると考える人が多い。
- 児童の登下校見守りや高齢者、障がいのある人への見守り意識があり、暮らしやすい。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○交野市には介護者家族の会があるが、区単位であったらいいな。 ○自然環境に恵まれているのもっと自然に触れる機会があればいいな。 ○気軽に相談できる場所や「困りごと目安箱」的なものを設けて、できるところを対応すればいいのではないかな。 ○PTA卒業後、倉小には「七夕会」、二中には「交陽会」という集まりがあるが、次世代組織として連携できないか。 ○夏・冬休みに「夜回り・火の用心」を子ども会の有志と自治会で実施しているが、消防団も取り込めないか。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代を担う小中学校の生徒との交流が充実したらいいな。 ○現在ある田畑を有効利用して、農業と市民を結びつけられないか。 ○地域住民同士の会話・つながりが希薄になっているため、多世代交流の機会を増やしてほしいな。 ○高齢者世帯への声かけや情報提供を増やしてほしいな。 ○休日に参加できる楽しいイベントがあればいいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○倉治第二踏切にも登下校の見守りボランティアがいてくれると安心。 ○見守りボランティアがバスタ・腕章等の身分証明になるものを身に着けることで児童との距離が近くなり、安心してもらえないかな。 ○高齢者向けに、電動自転車の安全運転教室的なことはできないか。 ○一人暮らしの高齢者宅訪問を倉治小学校児童とのペアで実施できないか。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の子ども食堂をPR・支援して、協力体制ができたらいいな。 ○親子で安全に遊べる公園や広場があればいいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○ゆうゆうバスが無くなり困っている高齢者が多いため、移動を支援できたらいいな。 ○高齢の男性が参加しやすい活動があるといいな。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○犬猫等の排せつ物処理の徹底を呼びかけて、地域をきれいにしたいな。 ○家にひきこもる男性が活躍できる場所をつくれたいな。

私たちのアクションプラン

倉治小学校区の目標

笑顔いっぱい、絆を深め
これからもずっと倉治で暮らしたいまちづくり

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 地域の福祉施設や関係企業に呼びかけて、あいさつ・声かけ運動を盛り上げよう
- 田畑を活かして市民のつながりをつくり、いきいき・子育てサロンでも活用しよう
- 困った時に力になってくれる福祉の相談窓口について学びを深めよう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 子ども会・さんゆう会との連携を深めるため、ナウな世代間交流活動を企画しよう
- SNSを活用し、委員や参加者の安否確認が取れるような体制づくりをしよう
- サロン参加者や何らかの理由で来られなくなった人の見守り・安否確認をしよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 校区福祉委員会のSNSを活用してスマホ世代に向けた活動のPRをしよう
- 夏・冬休みに児童や生徒が校区福祉委員会活動を体験できる機会をつくろう
- 子ども会やPTAに呼びかけ、サロンや世代間交流に新しいアイデアを取り込もう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 地域の子ども食堂と協働して子どもたちの新たな居場所づくりに取り組もう
- 健康的な生活とお互いの見守りのため、地域の公園でのラジオ体操を定着させよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 倉治区・民生委員児童委員・主任児童委員と協働して「避難行動要支援者支援事業」登録者の声かけ・見守りを強化し、情報共有をしよう
- 学校・PTAと協働して登下校通学路のハザードマップを作成し、児童の見守り体制を再構築しよう
- 日中の災害を想定し、警察・消防団・福祉施設等とのつながりを深めよう

郡津小学校区（幾野地区）福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

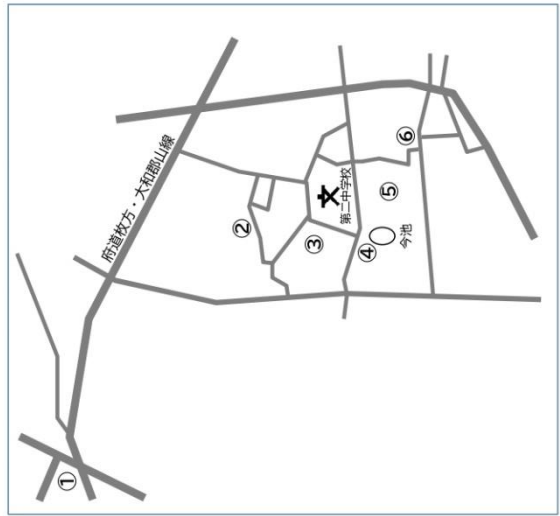
市の北西に位置する静かな住宅街。幾野1・2丁目、昭和40年頃に宅地開発され、子育て世代が家を建てる。その後、周りの田畑が宅地化され、戸建て住宅やマンションが建設された、比較的新しい地域である。6丁目だけが離れ、枚方市に隣接している。また、5丁目は工業地域となっている。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数等は令和3年8月末日現在)

人口	4,035人	世帯数	1,786世帯
高齢者人口	1,198人	要介護（要支援）認定者数	206人
高齢化率	29.7%	身体障害者手帳所持者※	54人
6歳以下人口	137人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数（7～12歳）	127人		

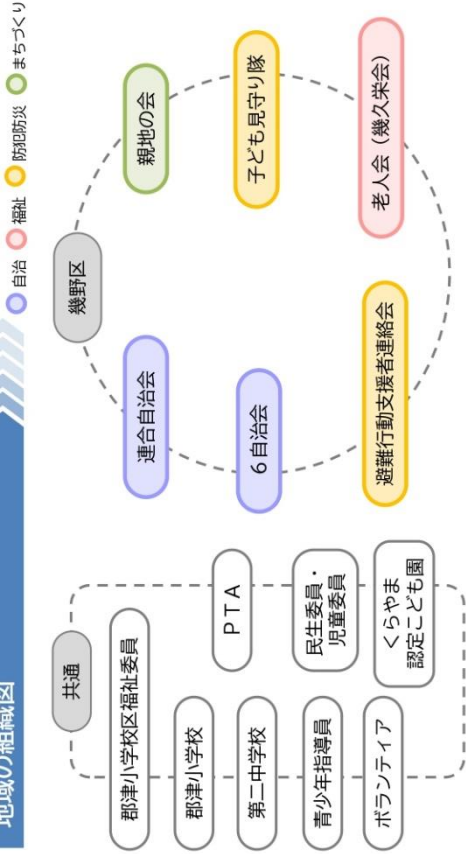
地域の拠点マップ



《拠点等》

- ①幾野西集会所
- ②幾野会館
- ③くらやま幼児園
- ④第一児童センター
- ⑤公園
- ⑥幾野集会所

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
お楽しみサロン	ゲームや歌の集い、勉強会などで交流	高齢者	毎月第4月曜日
ふれあいカフェ&図書室	お茶と読書（貸し借り自由）を楽しむ	市民全般	毎月第1・2・4火曜日 年2回
懇談会（高齢者の交流会）	音楽やマジックショー、軽食を楽しむ	一人暮らしや高齢者夫婦	毎月第1・3月曜日 学校登校日毎日
声かけ・あいさつ子ども見守り	登下校見守り	児童	毎年6・9・11・2月 年2回
美化運動	地域の清掃	児童	随時
友愛訪問（一人暮らし高齢者宅訪問）	訪問安否確認	65歳以上の一人暮らし者	
お助け幾野	日常の困りごとを手助け	高齢者	
世代間交流	校区三世交代流		
	くらやま認定こども園交流		
	幾野ふれあい広場		



▲ふれあい図書室

▲お楽しみサロン

▲元氣アップ体操

▲あいさつ運動

私たちの地域

地域のよいところ

- 静かな住宅街であり、環境・治安が良い。
- 校区福祉委員会や幾久栄会（老人会）、親地の会（二中コーディネーター）など、それぞれが特色ある活動をしている。
- 日ごろから子どもの登下校の見守り、あいさつや声かけ等を大切に感じている人が多い。

地域のあったら良いな・できたらいいな

分野	あったら良いな・できたら良いな ○地域活動のコーディネートをしてくれる人がほしいな。 ○地域ボランティアが少ない。若い人や子どもたちなど、みんなが地域の中でボランティアできる街になればいいな。 ○子育て世代や高齢者向けの地域の取り組みはあるが、真ん中世代の活動があったらいいな。 ○自治会から抜ける世帯も多く出てきているので、活動内容を見直して参加できやすい環境になればいいな。 ○誰でも気軽に集まって自由な時間を過ごせる場所があったらいいな。
地域のつながり	○自治会に入っているところとの交流が少ないので、地域活動を目に見えるようにして、もう少し交流の時間が持てたらいいな。 ○老人会は活発だが、世代間交流ができる“場”がほしいな。 ○地区（区や中学校のブロック）をまたいだ取り組みがあったらいいな。
見守り	○登下校の時にボランティアの人の協力があればいいな。横断歩道に立ってほしいな。
子ども・子育て支援	○小さな子どもを安心して遊ばせられる、整備された公園があればいいな。 ○道路に歩道をしっかり作ってほしい。自転車専用のラインもあってほしいな。 ○子ども同士や親同士の付き合いが希薄な気がする。何か子ども向けのイベントをしてもええな。 ○子どもが参加できる福祉ボランティアがあればいいな。
暮らし・防災	○ゆうゆうバスが廃止され、高齢者の移動手段がなくなった。地域を巡回する100円バスがあればいいな。 ○校区行事に参加する足があれば参加できるのにな。 ○災害時の対応がしっかりできるといいな。安心して地域組織づくりと防災訓練をしてほしいな。 ○災害時、特に地震の時、近隣にたくさんさんの避難所があればいいな。
その他	○どんなことにも対応してくれる窓口があればいいな。

私たちのアクションプラン

郡津小学校区（幾野地区）の目標

みんなで支え合う 安心・安全なまちづくりの推進

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 夏休み、冬休みに子どもたちを対象にした活動を始めよう
- 活動する支援者（ボランティア）の数を増やそう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 地域で助け合う「お助け幾野」活動を広く広報し、困っている人が依頼しやすいようにしよう
- 若い世代が参加しやすい催しを企画し、世代間の交流を進めよう
- 地域美化運動への参加者を拡充し、世代間の交流の場にしよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 地域人材を掘り起こし、新たなサロンなどを検討しよう
- 地区内で活動するボランティア団体の活動内容をまとめて情報発信しよう
- 工業地域の企業との交流を進めよう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- お楽しみサロン、ふれあいカフェ、ふれあい図書室などの活動を多くの人が参加しやすい週末にも開催したり、出張開催したりするなど、活動拠点をさらに充実しよう
- 老人会（幾久栄会）と協力して、高齢者の社会参加を進めよう
- 独居世帯を対象にしている「一人暮らし者懇談会」の活動範囲を「高齢夫婦世帯」にも広げよう
- 今地跡地の公園を活用してラジオ体操や太極拳を行い、高齢者の外出機会を拡充しよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 避難行動要支援者支援事業を進め、登録者の日常見守りにつなげていこう
- 子どもたちの登下校時の安全を確保する「登校見守り活動」を継続しよう
- 年1回（11月）の避難訓練に加え、AED講習や救急講習、避難所運営訓練を行う
- 交野警察と連携して特殊詐欺防止や防犯などの講習会を行う
- 小学校やPTAと連携して通学路などの危険箇所点検を行う
- 児童・親子向け防災訓練（イザ！カエルキャラバン）を行う

郡津小学校区（郡津地区）福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

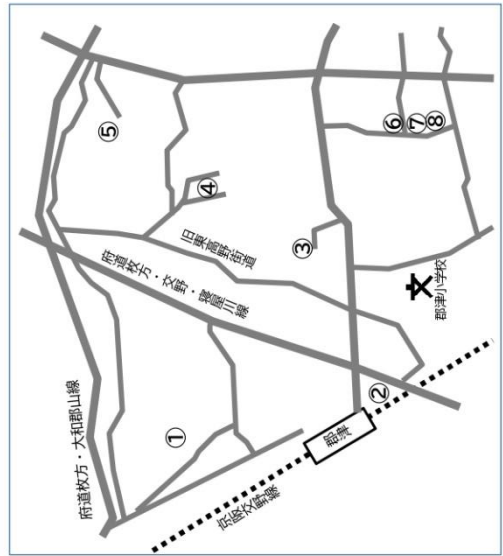
市の最北部に位置し、神社・寺院・古墳・さらには東高野街道が残る歴史のある地域である。最近では、田畑やテニスコートなどが住宅地に開発され、古い町並みと新しい住宅地域が併存している。地域の人口も若い世代の流入で少しずつ増加し、平均年齢は44歳となっている。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数等は令和3年8月末日現在)

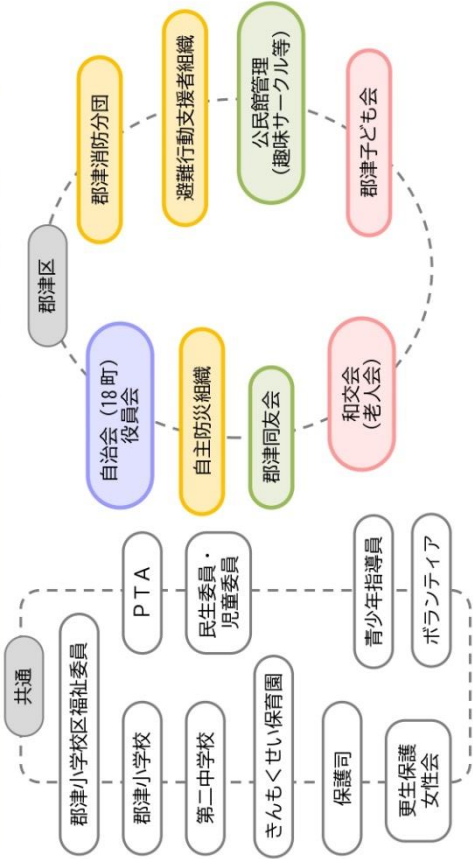
人口	6,697人	世帯数	2,819世帯
高齢者人口	1,450人	要介護（要支援）認定者数	256人
高齢化率	21.7%	身体障害者手帳所持者※	72人
6歳以下人口	384人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数（7～12歳）	392人		

地域の拠点マップ



- 《拠点等》
- ①第二さんもくせい保育園
 - ②交野幼稚園
 - ③郡津公民館・グラウンド
 - ④郡津2丁目ちびっこ広場
 - ⑤交野女子学院
 - ⑥児童公園
 - ⑦郡津神社
 - ⑧老人センター

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時	
グループ活動	元気アップ体操	主に65歳以上高齢者	毎週火曜日	
	ふれあいサロン	歌、体操、ゲーム他	毎月第1木曜日	
	子育てサロン	ゲーム、季節行事等	毎月第3木曜日	
	登校見守り	通学路2ヶ所見守り	毎日	
個別活動	あいさつ運動	京阪郡津駅前実施	年4回	
	委員アンテナ活動	① 個別訪問	健康不安把握者把握	随時
		② サロン欠席者	〃	〃
		③ 元気アップ!!	〃	〃
世代間交流	④ 日常交流の場で	〃	〃	

・郡津小学校でのむかし遊び指導と交流
 ・三世交代行事（各種演奏会、テーマ別講演会、ハルーンアート等の共同創作）他
 ・郡津区民祭りでの「校区福祉委員会活動紹介」で次世代参加者の勧誘



▲校区福祉活動運営スタッフ



▲交野幼稚園前登校見守り



▲元気アップ体操

地域のよいところ

- 自然が豊かで、伝統的な景観を残す町並みがある。
- 除夜の鐘つきや、郡津神社の秋祭り子ども神輿等、古きよき伝統文化が残っている。
- 郡津区と校区福祉委員会活動の連携がとれているため、地域福祉活動が充実している。
- 校区福祉委員会活動を支える役員をはじめ、民生委員児童委員、更生保護女性会、ボランティアメンバーの、助け合いを基本とする意識が高い。
- 高齢者に対する福祉支援や、災害時の支援等ボランティア活動に取り組んでいる人が多い。
- 校区福祉委員会活動に、高齢者も積極的に参加している。
- 宅地開発で若い世代の住民が増えてきており、子どもが増えてきている。
- 夏休み期間と冬休み期間に定期的なパトロールがあり、安心して過ごすことができている。
- 校区福祉委員会や同友会による小学校児童の登下校見守りで、安全が保たれている。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○郡津区に転入してこられた人に、交野市や郡津区の具体的な活動を知ってもらう機会をもっと増やすといいな。 ○地域活動の担い手の年齢が高いため、若い世代への参加を訴えるべき。 ○高齢者にスマホ操作を教えてくれる場所があればいいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○共働きでも、ご近所付き合いが希薄にならない何かがあればいいな。 ○地域やコミュニティに参加していない人たちへの支援を活発にすべき。 ○いつでも誰でも、気楽におしゃべりができる場所があれば孤立を防げる。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らしの人が相談できて食事もできる場所が近くにあればいいな。 ○生活支援の情報を定期的に発信すれば、必要としている人が救われる。 ○学校の登下校で、子どもを見守っていることはこれからも続けてほしい。 ○通学路が狭いので大変危険。道幅を広くできないか。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども会を、未就学児や中学生を含めたサークルにしたら充実する。 ○遊び場、特にボール遊びができる場所があればいいな。学校の開放等。 ○児童見守りに関して、父母の関心が低いので情報発信の場があればいいな。 ○子育てサロン対象者が分らない。交野市から情報提供がほしいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○防災無線が一番大事な暴風の時に聞こえない。有線化にできないか？ ○家庭内の問題や悩みを、相談や打ち明けられる場所がほしいな。 ○掲示板の数を増やせば、いろんな情報発信やその徹底が向上する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人が、支援学校卒業後に受け入れてもらえる作業所などの企業キャパシティが増えるといいな。

郡津小学校区（郡津地区）の目標

みんなの支え合い(愛)活動で

子どもから高齢者まで 安心・安全な住みよい町づくり

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のころを育む

- 郡津区民祭り等で「校区福祉活動紹介コーナー」を設置し、活動の仲間を増やそう
- 活動情報の案内不足対策として「郡津区民宅に活動紹介掲示板設置」をお願いしよう
- 休耕田所有者と交渉して、「児童の農作業体験学習」を郡津小学校に提案しよう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 子ども会、和交会（老人会）と連携強化のため、「新たな世代間交流活動」を企画しよう
- サロン参加者名簿から不参加が続いた人へ「安否確認」が取れる体制づくりをしよう
- LINE等を活用して校区福祉委員同士が「必要に応じて連携できる体制」を整備しよう
- 隣近所のちよっとした困りごとを「委員間のアンテナ活動で情報収集・共有化」し、地域で解決が難しい困りごとは専門職（社会福祉協議会等）につなぐ体制を整えよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 校区福祉委員会のSNSを活用し、「現役世代に向けた活動の周知方法」を勉強しよう
- 夏休み・冬休みに小・中学生が「校区福祉委員会活動を体験できる機会」をつくろう
- 登校見守りボランティアの「増員方法」をみんなで考えよう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- ふれあい・子育てサロン参加者への電話訪問等に「どんな内容を希望するか」を聞き取り年間サロンメニューに活かそう
- 隠れた課題の「公民館まで来られない人」がどのようにすれば参加できるか考えよう
- サロンに大学看護学科実習の受け入れや、交野市内の音楽活動家に「協力依頼」をしよう
- 育児の悩みや家庭での悩みを「嫁姑の立場で語ろう」の場づくりを考えよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 区と協力し、避難行動要支援者支援事業登録者への「日ごろの見守り」を強化しよう
- 登校安全確保活動の「登校見守り情報交流」を、小学校やPTAと定期的実施しよう
- 交野警察に「児童登校時の定期的なパトロール」をお願いしよう

郡津小学校区（松塚地区）福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

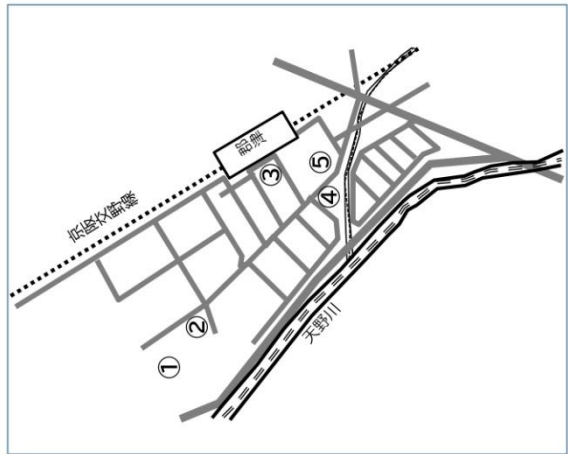
市の北西部に位置し、テラスハウス・戸建住宅・マンション・府営団地があり、郡津駅周辺には商業施設、診療施設が複数ある。区長をトップに松塚地区連絡協議会が組織されており、平成14年頃に開始された松塚公園の美化活動、早朝ラジオ体操、早朝太極拳等、地域や市域を超えた集まりがあり、現在も活発に活動が続いている。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数は令和3年8月末日現在)

人口	1,468人	世帯数	741世帯
高齢者人口	711人	要介護（要支援）認定者数	162人
高齢化率	48.4%	身体障害者手帳所持者※	38人
6歳以下人口	40人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数（7～12歳）	36人		

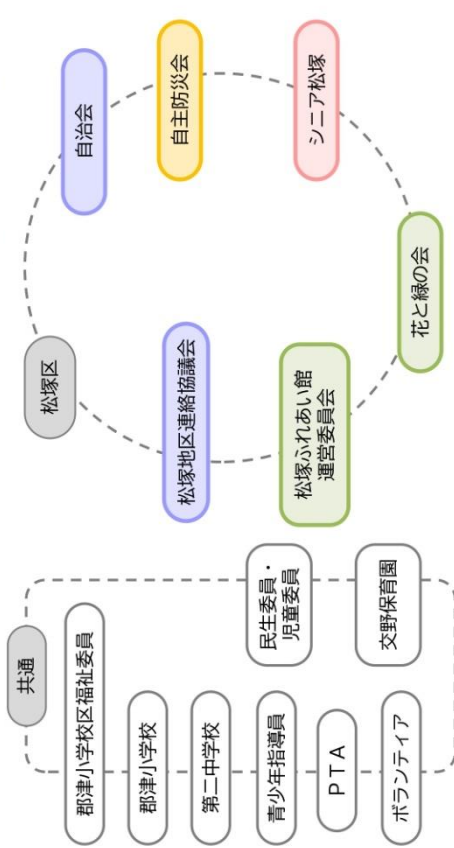
地域の拠点マップ



《拠点等》

- ①交野病院
- ②松塚ふれあい館
- ③交野会館
- ④交野保育園
- ⑤松塚公園

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
ふれあい喫茶	喫茶	概ね65歳以上の方	毎月第3水曜日
元氣アップ体操	健康維持の体操	概ね65歳以上の方	毎週月曜日
おしゃべり会	茶話会	概ね65歳以上の方	毎月第3金曜日
グラウンドゴルフ教室	グラウンドゴルフ	対象問わず	毎月第1・2土曜日
喫茶「やまびこ」	茶話会	概ね65歳以上の男性	毎月第4水曜日
ふれあい食事会	催しと食事会	概ね65歳以上の方	毎年2回
喫茶松の実	喫茶	対象問わず	毎週月曜日
映画観賞会	映画鑑賞	対象問わず	毎月第4日曜日
夏休みこども塾	遊びと勉強	松塚にお住まいの小学生	夏休み期間中
敬老の日記念事業	お祝いと見守り	90歳以上の方	毎年敬老の日
世代間交流	・グラウンドゴルフ大会 ・ふれあいひな祭り会 ・ふれあいクリスマス会		



▲喫茶松の実



▲夏休みこども塾



▲ふれあいクリスマス会

地域のよいところ

- 松塚地区連絡協議会があり、会議・会合がこまめに開かれている。
- 問題意識（地域の福祉課題等）が広がり、地域内での情報提供が整備されている。
- 高齢者に関する福祉支援や災害時の支援などのボランティア活動に取り組んだことがある人が多い。
- スポーツやレクリエーション活動の支援のボランティア活動への取り組み意向が高い。
- 定期的にパトロールがあり、安心して過ごすことができている。
- 日頃から子どもに登下校の見守り、あいさつや声かけ等を大切に感じている人が多い。
- 松塚公園の美化活動、早朝ラジオ体操、早朝太極拳等、地域や市域を超えた集まりがあり、現在も盛んである。

地域のあったら良いな・できたらいいな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○地区の住民のほとんどが楽しんで参加できる行事ができるといいな。 ○人間はつながり、顔を見て話すことで理解が深まる。松塚はこの点サークルもあるので、さらに活性化できたらいいな。 ○地域活動に気軽に参加できたらいいな。オンライン上で把握できるようになればいいな。 ○高齢化が進んでいるため、摂南大学生の協力を得たまちづくりができるといいな。 ○空き家、空き地が増える今こそ地域住民の横のつながりが大切なので、もっと交流の場が増えればいいな。 ○幾野図書館の上のようにいつでも子どもたちが集まれる場所がほしいな。 ○松塚公園で将棋をされている方に教えてもらって喜んでほしい。子どもたちに将棋、囲碁などシニアの方が得意なことを教えてほしいな。 ○防災訓練などを、子どもたちが参加するイベントにしてほしいな。 ○月2回くらい集まれる場所の確保。おしゃべりをしたり、マージャンや編物など自由に過ごす場所があるといいな。 ○登下校時の見守りなどの仲間が増えるといいな。
見守り 子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがボール遊びできる場所があればいいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○人通りが少ないので、防犯カメラの設置。 ○松塚ふれあい館が耐震化できれば安心。 ○街全体が暗いので街灯が増えるといいな。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校のグラウンドでフリーマーケットなどを定期的を実施して、不要になったけどまだ使えるものを交換し合えたらゴミの減量につながるのではないかな。

郡津小学校区（松塚地区）の目標

日頃からの近所の見守り・支え愛を通して、
様々な問題を早期に把握し、各専門機関と協働と協力し解決します

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 地域ぐるみであいさつ運動をすすめ、世代を超えた地域のつながりを深めよう（登下校の児童を見かけたらいさつをしよう）
- 日ごろ、大人だけで行っている地域の花壇や植木の手入れに、子どもたちにも参加してもらい、地域の活動に目を向けてもらう
- 福祉について色々なテーマで講師を招いて勉強会を実施し、今後に備えよう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 喫茶松のまやサロンで参加者を見守り、何らかの理由で不参加が続いた時には、訪問や電話などでお元気がどうかの確認をしよう
- 困っている人を見つけた時に情報共有をし、ちよっとした困りごとであれば地域で対応し、地域で解決が難しい困りごととは専門職（杜協・地域包括等）につなぐ体制を整えよう
- ITについて少しずつ理解を深めていき、便利さと楽しさを実感できるようにしよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 連絡協議会日より（地域の広報紙）を活用し、積極的に活動を発信しよう
- ボランティアに参加可能な若い世代を発掘し、活動に新しいアイデアを取り入れよう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 訪問や電話・メールを使って、一人暮らしの高齢者や気になる人の見守りを行い、孤立しないようにサポートしよう
- 閉じこもりがちで年齢層の方をお誘いするとともに、参加しやすいサロンを企画しよう
- 男性の参加が少ないので、男性が活躍できるような活動を検討しよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- こども110番の仲間を増やし、子どもたちが安全に生活できるようにしよう
- 向こう三軒両隣で支え合えるように、自治会単位で「隣組」「共助」の啓発をしよう

旭小学校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

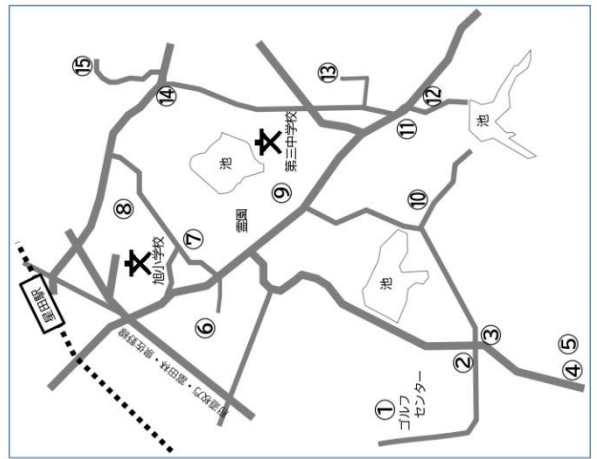
市の南西の端に位置し、地域は、星田、星田山手、星田西の3つの区で構成されている。星田は旧家、戸建て、マンションが混在、星田山手は戸建て住宅が建ち並び閑静な住宅地、星田西は平成3年頃に宅地開発された新しい地域で、地区によって特徴がある。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数は令和3年8月末日現在)

人口	7,353人	世帯数	3,053世帯
高齢者人口	2,145人	要介護(要支援)認定者数	289人
高齢化率	29.1%	身体障害者手帳所持者*	100人
6歳以下人口	380人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	379人		

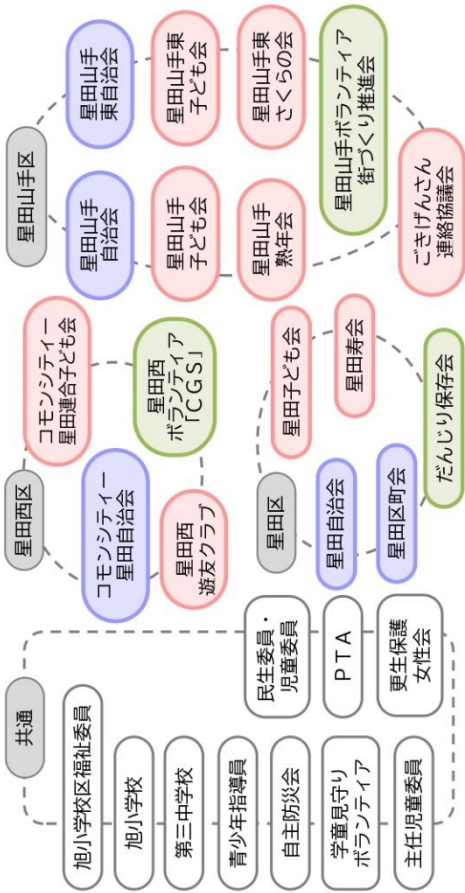
地域の拠点マップ



《拠点等》

- ①星田ゴルフセンター
- ②星田西4丁目集会所
- ③ふれあいプラザ
- ④星田西体育施設
- ⑤星田西3丁目集会所
- ⑥府営住宅集会所
- ⑦高岡幼稚園
- ⑧ほしのまち保育園
- ⑨ぼつかばか7丁目保育園
- ⑩星田山手自治会館
- ⑪星田山手集会所
- ⑫さんもくせい特別養護老人ホーム
- ⑬さんもくせいケアプランセンター
- ⑭特別養護老人ホーム明星
- ⑮星田会館

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
ふれあいいきいきサロン	ミュージックケアを主体にその他の企画	高齢者	毎月第1土曜日
子育てサロン	リトミック・季節あそび等及び保護者の交流	未就園児とその保護者	毎月第2水曜日・第3金曜日
サロン街かど	カフェ・ゲーム・健康麻雀・一筆画教室・ちぎり絵・映画	誰でもOK	毎月第1・3・4水曜日 ※第1・3水曜日は午前、第4水曜日午後は映画のみ
あさひ茶話会	作品づくり・体操など	高齢者	年6回 (奇数月第4日曜日)
コモンシネマ	映画サロン	高齢者	年6回 (偶数月第1月曜日)
オレンジサロン	懇談会・ゲーム・合唱・タクトイールなど	介護者・家族 一般参加者	年6回 (偶数月第4日曜日)
あいさつ声かけ運動	小学生登校時のごきげんさんあいさつ運動	地域住民、 校区役員、 小中学校児童 会・生徒会	春と秋の年2回 各回とも月曜～金曜の 5日間
中高生のための 勉強部屋	定期試験前の学習支援	中高生(小学生も可)	年5回

グループ活動



▲いきいきサロン

▲子育てサロン

▲中高生のための勉強部屋

地域のよいところ

- 地域の取り組みに参加や手助けをする人が多い。
- 子育て家庭が暮らしやすい街として評価が高い。
- 困ったときに、隣近所で助け合える人が多い。
- 手助けが必要な方への見守りや目配りに満足している。
- ボランティア活動に参加している人（参加したことのある人）が多い。
- 子どもに関する福祉支援のボランティアに参加している人が多い。
- 地域ごとに色々なボランティア活動が活発である。
- 町内会、自治会を中心に地域福祉活動が活発でまとまりがある。
- 障がいのある人への支援に参加や手助けができると回答した人が多い。
- 日頃から子どもの登下校の見守り、あいさつや声かけが大切と感じている人が多い。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	○広場がなくなると活動が制限されている。これからも地域交流ができる機会を持てるといいな。(星田山手区イベント広場の約8割が住宅に変わる) ○活動拠点として、小学校や府営住宅集会所を借りた方がいいな。 ○現役の人も地域福祉に関心を持ち、無理のない範囲で参加できるといいな。
地域つながり	○子どもたちが地域住民と交流できるイベントを行って思い出づくりができるといいな。 ○高齢者が子どもたちに昔の遊びを教えてくれる場があったらいいな。 ○認知症を理解してもらえ、つながりが持てる場があればいいな。 ○子育て世代と労働世代、リタイア世代、高齢世代が交流する場があるといいな。
見守り	○体調に変化がないか、声かけする確認システムがあればいいな。 ○自治会より小さいコミュニティでのコミュニケーションを図り、災害時、急病・事故等の異常事態時に助け合える関係を作りたいな。
子ども・子育て支援	○出産・子育てを安心してできる雰囲気や地域で作れたらいいな。 ○学校配布のタブレットを使って交流できる授業があればいいな。 ○車を気にせずに遊べる場所があったらいいな。
暮らし・防災	○家の中のちよつとしたこと（電球替え、スマホ、PCや電化製品のトラブル等）を相談したり手伝ってもらえるシステムがあれば心強いな。 ○何かあったときに相談できる場所があったらいいな。 ○市の福祉サービス等を分かりやすく、身近で気軽に相談できる窓口があるといいな。 ○災害発生時に隣近所に隣近所の一人暮らしの障がいのある人等の補佐指導者がほしいな。
その他	○高齢者のためのスマホ講座、地域の情報や手続きを誰でも簡単にできるといいな。 ○外出支援（通院、買い物等）の要望が多数ある。

旭小学校校区の目標

赤ちゃんからお年寄りまで 安心して暮らせる街づくりをめざす

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 子育て世代の孤立を防ぎ、つながりを育む「子育てサロン」を継続しよう
- 子どもも大人もちよつと一息つける居場所事業「えほんのひろば」と「子育てサロン plusone ひまわりっ子」を定着させよう
- より参加しやすい身近な場所になるよう、子育てサロンの拠点拡大を検討しよう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- サロン活動を通じて困りごとを把握し、解決に結びつけよう
- 福祉に関する勉強会を開催し、校区福祉委員の気づき、見守りのレベルアップを図ろう
- 地域で活動されている専門家等による、医療や法務、健康に関する講演会「地域セミナー」を継続しよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 小中学校・PTAとの連携を深めるため、世代間交流活動を継続しよう（土曜教室、旭小まつり、旭小1年生昔遊び、ほしのまち学園ふれあいフェスティバル）
- 地域の子どもは地域で育てる「子ども居場所づくり」を継続しよう（サマースクール、ウインタースクール）
- 中高生の学習機会や第3の居場所となる「地域の勉強部屋」を継続しよう
- 地域の担い手を育てるために、中高生が地域で活躍できる機会の創出を検討しよう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- いきいきとした暮らしを支えるために、地域に根ざしたサロン活動を活性化しよう（ふれあいいきいきサロン、サロン街かど、あさひ茶話会、コモンシネマ）
- 一人暮らし高齢者等がつながり、生活力を高めるよう、「大人の食育講座」を継続しよう
- 認知症患者と家族や介護する人の憩いの場である「オレンジサロン」の定着を図ろう
- 介護する人の居場所づくり事業の輪を広げるため、包括支援センターや介護施設等との連携を深めよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 地域で交わすあいさつが「安心・安全な街づくりの基礎」となる認識のもとに「あいさつ声かけ運動」強化週間の取り組みを継続しよう

星田小学校区福祉委員会

■ ■ ■ ■ ■ 私たちの地域の基礎データ ■ ■ ■ ■ ■

地域の特徴

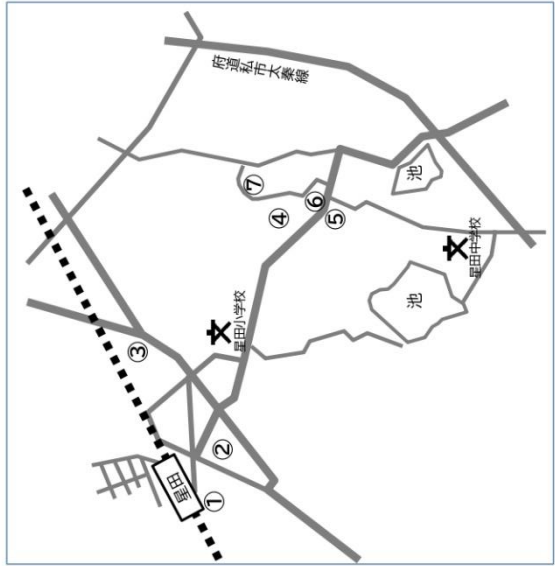
市の南西端に位置し、星田駅前にはスーパー・銀行・福祉施設等、生活関連施設が充実している。また、星田区には星田・旭・妙見坂・藤が尾小学校区の4つのエリアが混在している。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数等は令和3年8月末日現在)

人口	5,887人	世帯数	2,648世帯
高齢者人口	1,633人	要介護(要支援)認定者数	339人
高齢化率	27.7%	身体障害者手帳所持者※	109人
6歳以下人口	273人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	263人		

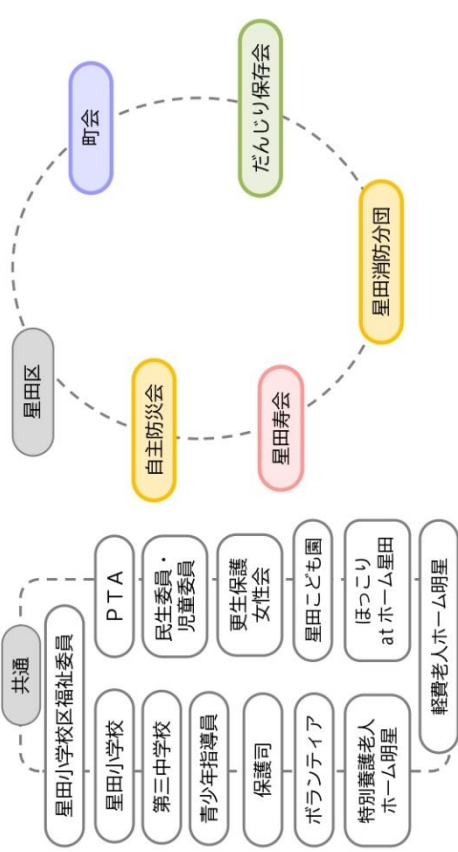
地域の拠点マップ



《拠点等》

- ①星田駅前ちびっこ広場
- ②ほっこり at ホーム星田
- ③あさひ認定こども園
- ④星田公園
- ⑤特別養護老人ホーム明星
- ⑥軽費老人ホーム明星
- ⑦星田会館

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
ふれあい・いきいきサロン	出前講座、ゲーム、食事会等	概ね65歳以上の高齢者	毎月第4土曜日
子育てサロン	自由遊び、季節行事等	未就園児とその保護者	毎月第2木曜日
喫茶サロン	喫茶、映画上映	近隣にお住まいの方	毎月第2土曜日
囲碁サロン	囲碁	近隣にお住まいの方	毎月第1・3土曜日 第2・4水曜日
元氣アップ教室	元氣アップ体操	近隣にお住まいの方	毎月第1木曜日 第2・3・4金曜日
星の児サロン	遊び、勉強	星田小学校の児童	毎週土曜日
星降る里絆ステーション	見守り支援、生活支援	独居高齢者、高齢夫婦	随時
世代間交流	・人形劇「もんべ座」公演 ・星田区サマーフェスティバル ・星のまち学園ふれあいフェスティバル ・星田小学校昔あそび ・星田小学校七夕飾りづくり・スタンプラリー		



▲元氣アップ教室



▲星の児サロン



▲スタンプラリー

私たちの地域

地域のよいところ

- 校区福祉委員会の活動が活発。
- 星田小学校の見守りボランティア「織り姫ひこほし隊」が毎日、登下校を見守っている。
- 医療関係機関や福祉関係機関が多く、他地域に比べて社会資源が充実している。
- 見守り活動等の相互援助の参加や手助けができる人が多い。
- 子どもに関する福祉への関心が高い。
- 福祉サービスの情報を SNS などインターネット媒体で入手している人が多い。
- 環境がよく、緑の多い素晴らしい町。
- 治安が良く、住みやすい。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○住民が特に用事もなければふらっと立ち寄れる場所があるといいな。 ○子どもたちが参加できる行事がこれからも続いてほしいな。 ○地域の催し、行事（活動）状況を広く告知するため、市民サービスコーナーにPR用パンフレットを置く。 ○気軽に参加できる茶話会（飲み会）を定期的に開催し、希望、要望、困りごと、子育て問題等を聞き出す場があればいいな。 ○SNSを活用して、若い世代や子育て、仕事に忙しい方々にも校区の活動の良いところを知ってもらい、楽しんで参加してもらいたいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○旧村と新しい住民とが楽しく交流できる場やイベント等開催できたらいいな。 ○空き家を貸してくれる人がいればいいな。子どもから年寄りまで、しょうもない話や昔話等できたらいいな。 ○小さい子からお年寄りが集まって、ゆったりくつろいだり、お茶を飲んだり、お話ししたり、物作りができる場所があればいいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちと住民の触れ合いの活動、グループでインタビューに回り地域の地図が作れるといいな。 ○すれ違う人と気楽に挨拶できるような雰囲気してほしいな。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○お年寄りとの交流もできたらいいな。地域の事をもっと知れたら嬉しい。 ○子どもの虐待相談、子ども自身が相談できる場所があるといいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○小さくなった服、使わなくなったベビー用品、おもちゃなど、不要品（服、物）交換ステーションがあればいいな。 ○数分歩けば皆自由に憩える場があればいいな。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○星田会館で種々なことをしているのがわかっているだけでも、足が悪くなると出かける方法がない。年をとっても外出できる足がほしいな。

私たちのアクションプラン

星田小学校区長の目標

地域の団体と協力し、星田で暮らしてよかったと
みんなが思えるような地域にしていこう

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 福祉施設や学校と連携し、見守り・あいさつ声かけ運動を継続しよう
- 子どもから高齢者までが土や自然に触れられる、星田ならではの活動を検討しよう
- 子どもたちが主役になれる行事を企画し、子どもたちの自己有用感と郷土愛を育もう
- 見守りの輪を広げるために勉強会をしよう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 世代を超えて交流できる場づくりから、お互いに見守り合える関係づくりをしよう
- サロンの参加者名簿を定期的に更新し、参加者の見守り・安否確認を続けよう
- 「星降る里 絆ステーション」の活動を広め、暮らしに不安を抱えている人の発見、見守りにつなげよう
- 星田地域子育て支援センターや子育て支援団体などと連携し、子どもや保護者にとって安心できる地域づくりを考えよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 星田行政区をはじめとした各団体との連携により、地域ぐるみの活動を展開しよう
- 広報活動を充実し、より多くの方に校区福祉委員会の活動を知ってもらおう
- 子ども会やPTA、福祉施設に呼びかけ、サロンや世代間交流に新しいアイデアを取り込もう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 星田会館に來られない人がどのようにすれば活動に参加できるかを考えよう
- 地域住民がココロもカラダも健康に暮らし続けられるように、サロンや元氣アップ体操を継続しよう
- 星田寿会や軽費老人ホーム明星の福寿会と連携し、高齢者の生きがいづくりを考えよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 星田行政区、民生委員・児童委員、青少年指導員、星田寿会と連携し、「おりひめ支え愛プロジェクト」を推進しよう
- 防災を想定し、福祉施設や学校とも連携を深め、地域のつながりを強めよう
- 警察署や郵便局、農協の協力を得て、犯罪や特殊詐欺などへの対策を学ぶとともに、困った時に相談できるような関係づくりにつなげよう

妙見坂小学校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

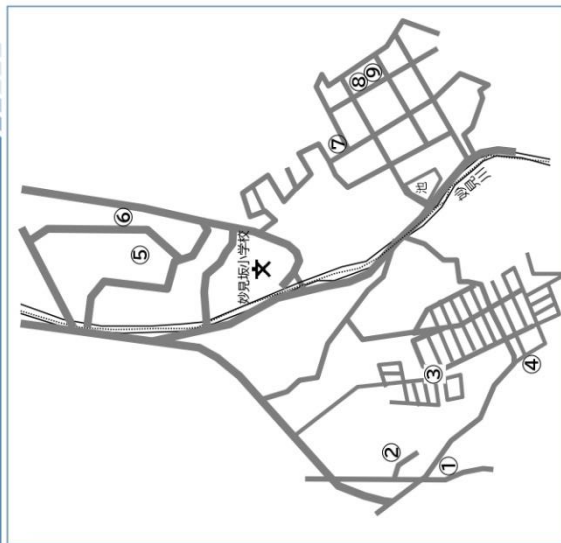
市の南部に位置し、川や緑に恵まれた自然環境が整っている地域である。山手にあり一戸建てが多く、また一戸の土地が広く隣家との間隔があることも特徴である。社宅や同じ企業の出身者も多く、退職後も地域でつながりがあることから、住民の組織力・自治力は高く、自主的に活動を立ち上げ運営し、地域活動を展開している。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数等は令和3年8月末日現在)

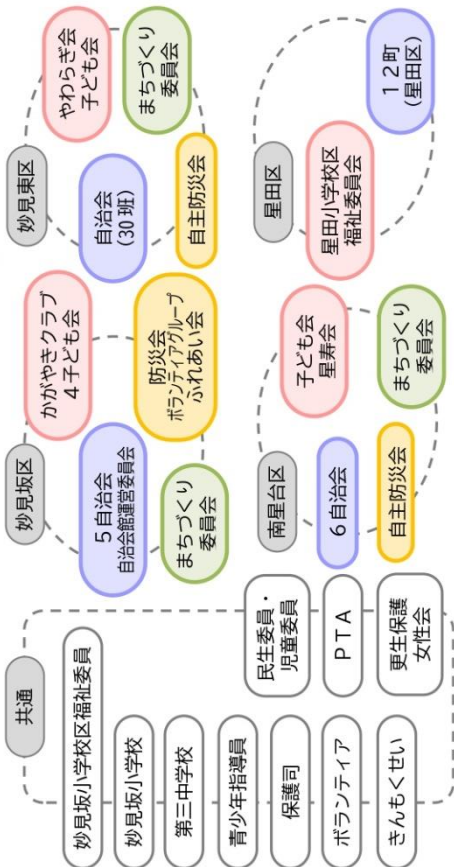
人口	6,674人	世帯数	2,676世帯
高齢者人口	2,062人	要介護(要支援)認定者数	302人
高齢化率	30.9%	身体障害者手帳所持者※	109人
6歳以下人口	395人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	426人		

地域の拠点マップ



- 《拠点等》
- ① さんもくせい 特別養護老人ホーム
 - ② ケアハウスさんもくせい
 - ③ 南星台西公園
 - ④ 南星台集会所
 - ⑤ 妙見坂中央公園
 - ⑥ 妙見坂自治会館
 - ⑦ 妙見東自治会館
 - ⑧ 妙見中央公園
 - ⑨ 妙見東自治センター

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
グループ活動	ふれあい・いきいきサロン	出前講座や体操など	(妙見坂) 毎月第2土曜日 (妙見東) 奇数月第2土曜日 (南星台) 奇数月第3土曜日
	子育てサロン	おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせなど	(妙見坂) 毎月第3水曜日 (南星台) 毎月第3木曜日 (妙見坂) 毎月第2土曜日 (妙見東) 毎月第4水曜日
	映画会	映画の上映と懇談	地域在住者
	共生型サロン	多世代交流の場づくり	地域在住者
個別活動	スマホ教室	スマホの使い方講座	毎月第1・3土曜日
	暮らし輝きサポーター	地域の困りごと支援など	毎月第1・3土曜日
	友愛訪問	戸別訪問での見守り	随時
	おりひめ支え愛チーム	災害に向けた見守り	随時
世代間交流	・ 妙小1年生 運動会玉入れ ・ 妙小2年生 昔遊びと給食懇談会 ・ 妙小4年生 グラウンドゴルフ ・ 妙小カーニバル ・ 星のまち学園ふれあいフェスティバル ・ 囲碁将棋		



▲あいさつ・声かけ運動



▲いきいきサロン



▲子育てサロン

地域のよいところ

- 住民の組織力がある。
- 福祉、まちづくり、防犯防災など、多様な組織があり、幅広い地域活動が展開されている。
- さまざまな技術や経験を持っている人材の宝庫である。
(例) マネジメントやコーディネーター、営業、教職など
- 福祉施設や大学等との連携がとれている。
- (例) 施設：地域のかけこみ寺としての相談窓口、認知症などの勉強会 大学：まちづくり福祉への関心が高く、特に高齢者への福祉に対する関心が高い。
- 福祉サービスの情報を行政区長や町内会・自治会等から入手している人が多い。
- ボランティア活動者（または活動経験者）が多い。
- 民生委員・児童委員の認知度が高い。
- 自治会の加入率が高い。

妙見坂小学校区の目標

あいさつ運動を通してつながりを深め

小さな声でもあげられる安心安全のまちづくりをめざそう

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 子どもから高齢者までの見守りを通して異変をキャッチしよう
- 子どもから高齢者まで挨拶ができる地域をめざそう
- 色々な立場や年代の人を理解するために校区福祉委員会で研修会を継続しよう

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が集い、世間話や情報交換を通じて安否確認をしたり、軽度の運動ができる場所がもっとあればいいな。 ○地域ボランティアがリーダーシップを発揮し、引きこもりや一人暮らし高齢者の方々が気軽に参加できる集いや、イベントがより多く開催できる環境を整備できたらいいな。 ○高齢者の活躍の場が増えたらいいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校・中学校に限らず挨拶を交わすことができたらいいな。 ○新しい家がどんどん増えているが、なかなか顔を合わす機会がないので、交流できる場があればいいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いに、会った時には「おはよう」「こんにちは」「おかえり」を徹底できるといいな。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が学童保育や保育所に向向いて、働いている親のサポートができる場や、年中行事などを伝えることができる場所があるといいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生も含んで、長期休みのための寺子屋的なスペースがあるといいな。 ○近くの公園や会館で毎日ラジオ体操ができるとうれしいな。 ○自分自身も高齢になり、運転免許証の返納を考えているが、交通手段をどうすればいいのか不安がいっぱい。 ○今やデジタル社会、ネットワーク社会が生活のすべてを占めている。シニアの生活を少しでも快適に過ごせるよう、スマートフォンを使いシニアのデジタル化を前進させるきっかけができればいいな。
その他	

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 「お互いさま」の気持ちで困りごとを相談できる関係づくりをめざそう
- 住民が気軽に交流できる場を増やしていこう
- 身近な福祉の困りごとを気軽に相談できる場を提供しよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- SNSを利用して仲間を増やして活動紹介を充実させていこう
- 学生ボランティアの活躍の場をつくろう
- 単発でできるボランティアから校区福祉委員会活動を知ってもらおう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- ご近所同士での支え合いをすすめ、地域から孤立しないよう支援しよう
- 人生で培ってきた特技を活かせるような場を提供しよう
- 校区だよりを活用して、お手伝いしてくれる人に呼びかけよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- ジョギング・犬の散歩のときに見守りをしてもらうようお願いしよう
- 「おりひめ支え愛プロジェクト」を校区としてもっと推進していこう
- 交野警察署に住民向けの「警察による防災・防犯の講演」を依頼し、防犯意識の向上とともに、警察と地域との交流を図ろう

岩船小学校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

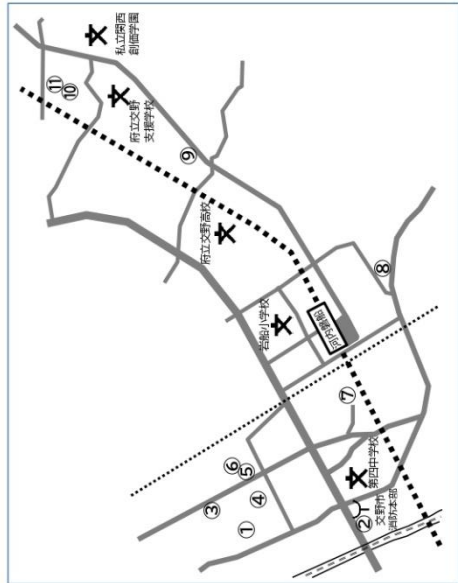
市の東部に位置し、旧家と戸建て住宅からなる森地区・寺地区、昭和45年頃に開発された住宅からなる天野が原地区、4世帯からなる傍示地区で構成されている。地域活動は、森、寺、天野が原の3地区において独自性を活かして実施しながら、各地区の連携を図り、校区としてまとまり、活動を展開している。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数は令和3年8月末日現在)

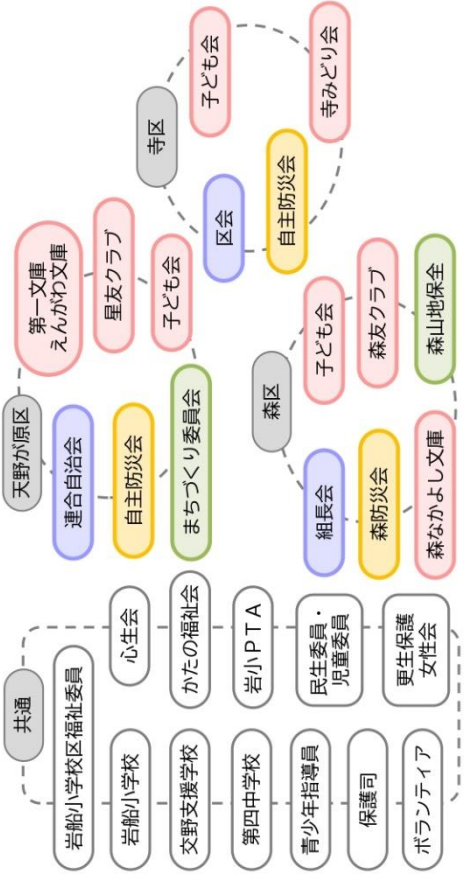
人口	6,654人	世帯数	2,913世帯
高齢者人口	2,069人	要介護（要支援）認定者数	390人
高齢化率	31.1%	身体障害者手帳所持者※	121人
6歳以下人口	341人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数（7～12歳）	350人		

地域の拠点マップ



- 《拠点等》
- ①さくら丘会館
 - ②天野が原集会所
 - ③ミルキーウェイ
 - ④西公園
 - ⑤天野が原自治会館
 - ⑥北公園
 - ⑦ゆうゆうセンター
 - ⑧森区民ホール
 - ⑨寺会館
 - ⑩交野自立センター
 - ⑪ワークハウスやわらぎ

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
ふれあいサロン	出前講座、ゲーム、食事会等	主に65歳以上	(天野が原) 毎月第2水曜日 (寺) 毎月第2金曜日 (森) 毎月第2月曜日
子育てサロン	親子交流、助産師による育児相談・身体測定、読み聞かせ等	0歳～未就園児の親子、妊婦	毎月第1月曜日 10:00～11:30
パソコン教室	パソコン基礎の習得	校区在住者	毎月第1・2・4火曜日 14:00～
みんなで歌おう会	童謡、演歌他	校区在住者	毎月第1木曜日 14:00～15:00
あいさつ声かけ運動	児童とのふれあいたち	校区の子どもたち	随時
友愛訪問	要支援者の見守り・安否確認	校区在住者	随時
世代間交流	【世代間交流】・稲作(田植え・稲刈り) ・昔くらし体験 【委員会活動】・岩小わいわいフェスタ	・オセロ大会 ・グラウンドゴルフ ・昔あそび体験(岩船小学校の児童)など ・昔あそび体験(交野支援学校の児童)	



地域のよいところ

- 3地区が一体として活動できており、地域活動に協力的である。
- 自然環境や交通の便が良く、福祉・医療機関も充実しており、利便性が高い。
- 新しく入った住民に対する受け入れがよく、行事に声がかかる。
- 日頃から子どもの登下校の見守り、あいさつや声かけ等が大切だと感じている人が多い。
- 隣近所の交流や助け合いが活発であることや、町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの居場所が増えれば良いな。 ○同地域に住む人達とのコミュニケーションは最後まで最も大切なこと。同じ目標で学んだり、体力増進の体操、趣味、お稽古を通してともに歩める仲間が必要。 ○男性高齢者が参加、交流しやすいサロン活動があるといいな。 ○現在、校区福祉委員会も高齢化して体力的にも支障があるので、次の世代へ引き継いでいくべきだと思う。世代間交流、三世代等と一緒に交流できる場所があればいいな。 ○ボランティアをすすめる人を増やせたらいいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○親世代や現役世代が参加できる、または参加したいと思えるイベントや活動があればいいな。 ○小中高までの社会貢献活動や教育（共育）活動ができるといいな。 ○核家族化により高齢者と子ども達との交流が希薄になりがちであるため、誰もが気軽に集まることができるといいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の一人暮らし世帯に、食料品、日用品などの移動販売車が来てくれるといいな。 ○一人暮らしの高齢者の安否確認が簡単にできるシステムがあればいいな。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みなど長期休暇中の子どもの居場所があればいいな。中学生の定期テスト対策をする場があればいいな。 ○子育て世代への情報発信については、インターネット etc を使うと多くの人に伝わるのではないかと。若い人にはその方が身近ではないか。 ○子育てについての相談等、サロンは平日開催だが、土日に行ける場所も必要ではないか。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○各区の消防団や地域の事業所の協力を得て、防災・避難訓練を行い、平時からの関係づくりができればいいな。 ○何かあったときに相談できる場所があるといいな。

岩船小学校区の目標

誰もがつながりを実感できる豊かな地域にしよう

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 休耕林・畑を活用して多世代での交流の輪をひろげよう（栗拾い、稲作、さつまいも掘りなど）
- 地域であいさつ・声かけ運動の仲間を増やし、見守りの輪をひろげよう
- 地域の良さを実感できるような取り組みを行い、郷土愛を育もう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- サロンの参加者名簿を定期的に更新し、見守り・安否確認を続けよう
- 地域の福祉事業所などの協力を得て、勉強会を開き、サロンの活性化や近隣で気軽に相談できる場所につなげよう
- 地域で解決が難しいことに関しては、専門機関につなぐ体制をつくらう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- SNSなどを活用して、校区福祉委員会の活動を多世代に知ってもらおう
- 小・中学生・高校生が校区福祉委員会活動で活躍できる仕組みをつくらう
- 広報委員会の活動を拡大し、積極的に校区福祉委員会活動をPRしよう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 高齢者の交流できる場をつくり、見守り合える関係づくりにつなげよう（男性の参加促進、おしゃべりサロンなど）
- 子ども居場所をつくり、相談や見守りのできる場を増やそう（子ども食堂、幼児の交流の場）
- 誰もが住み慣れた地域で住み続けられるような仕組みを考えよう（移動販売の活用などニーズ調査）

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 各区と連携し、「おひりめ支え愛プロジェクト」の登録、更新の支援をしよう
- 各区や消防団、地域の福祉事業所などの協力を得て、岩船小学校で防災・避難訓練などを行い、つながりを深めよう
- 中学生・高校生を対象に、防災・防犯意識を高める取り組みをしよう

私市小学校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の南東部に位置し、自然に恵まれ、また、神社・寺院・文化財等が多くある歴史のある地域である。地域は、大きくは旧地域である私市地区と新興住宅地である私市山手地区に分かれており、独自の活動を展開している。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数等は令和3年8月末日現在)

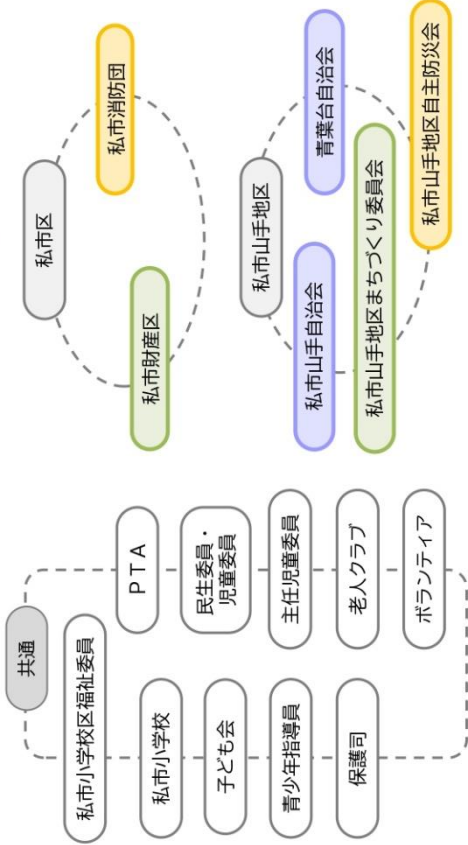
人口	7,077人	世帯数	2,936世帯
高齢者人口	1,860人	要介護(要支援)認定者数	353人
高齢化率	26.3%	身体障害者手帳所持者*	108人
6歳以下人口	435人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	417人		

地域の拠点マップ



- 《拠点等》
- 1井手之内会館
 - 2私市会館
 - 3青葉台自治会館
 - 4私市山手自治会館
 - 5私市山手A集会所

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
子育てサロン	幼児育成者の集い	未就園児と保護者	毎月第1金曜日
男のきさいちサロン	男女共に麻雀	高齢者	毎月第2・4火曜日
いきいきサロン	地域の方の集い	高齢者	毎月第3金曜日
まごころサロン	地域の方の集い	条件なし	毎月第4火曜日
元氣アップ体操	健康維持体操	高齢者	毎週水曜日
お手伝いクラブ	家の困りごと解消	高齢者の家庭	随時
ご機嫌さん運動	挨拶運動	地域の人	年2回(春、秋)
昔遊び	私市小学校で昔遊び	小学1年生と高齢者	年1回(1月下旬)
昔語り	私市小学校で昔の話	小学3年生と高齢者	年1回(2月下旬)



▲子育てサロン(芋ほり)



▲いきいきサロン(ミニコンサート)



▲お手伝いクラブ(庭の草刈り)

私たちの地域

地域のよいところ

- 若い世代の転入が増えてきたため、幼児が増えている。子育てサロンも活発化している。
- 歴史ある祭りなど、地域活動が活発に行われている。
- あいさつや声かけ等が大切だと感じている人が多い。
- 日頃から地域で気軽に集まれる場所が大切だと感じている人が多い。
- 困った時に隣近所で助け合える地域である。
- 自然が豊かであり、伝統的な景観を残す町並みがある。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○身近に相談や話ができる場があればいいな。 ○登下校の見守り、お喋りを通じての困りごとの把握と解消、子どもや高齢者の居場所づくり、世代間交流、読み聞かせ、映画会、趣味 etc の外出支援があるといいな。 ○長期間、継続的には無理だが、ボランティア情報を発信してほしいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○住民同士のふれあいが増え、子どもと高齢者がふれあえる町である。 ○困ったときに隣近所で助け合える。気軽に集まれる場所があり、新しい人たちも溶け込みやすい。 ○地域の人との交流を含めた農体験、いちご狩り、芋掘りなどがある。 ○地域とつながる、盛り上げていく、何かあった時（地震等の災害時）の担い手となれるよう、昔の青年団のような組織ができて参加しやすくなるような仕組みづくりができればいいな。 ○地域文化活動継承のための担い手が必要だと思う。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○児童や高齢者の見守り活動を検討する。 ○各サロンや地域組織と連携して高齢者の見守り活動を促進する。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の校庭は広いので、放課後の遊び場としての開放がもっと増えるといいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○近年災害が多発しており、地域の連携や避難などがもっとわかりやすくなればいいな。 ○高齢者の支援施策を「お手伝いクラブ」で充実する。 ○私市は歴史的にも豊かなところなので、もっとアピールできればいいな。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちに方が一何かあった場合にできる応急措置の講習会があればいいな。 ○地域活動、次世代の担い手不足が心配。

私たちのアクションプラン

私市小学校区の目標

ともに生きる時代を大切にし、見守り合える楽しい地域にしよう

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 地域のあいさつ・声かけ運動の仲間を増やそう
- 自然とふれあう機会をつくり、地域への想いを育もう
- 子どもたちが地域の行事に積極的に関わる機会をつくろう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- 子ども会、シニアクラブなどとの連携を深めるため、新たな世代間交流活動を企画しよう
- サロン参加者名簿を定期的に更新し、安否確認ができる体制づくりをしよう
- SNSなどを活用し、委員同士がつがいに連絡を取り合える体制をつくろう
- 隣近所のちよっととした困りごとに対応する「お手伝いクラブ」の活動内容を充実させよう
- 校区福祉委員に向けて福祉に関する学びの機会をつくり、見守りの目（芽）を育もう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- SNSなどを活用し、幅広い世代に校区福祉委員会の活動を知ってもらおう
- 小・中学生が校区福祉委員会活動を体験できる機会をつくろう
- 地域の福祉事業所などと協力し、サロンの活性化や近隣で相談できる場所を増やそう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 高齢者が交流できる場所をつくろう
- 健康的な生活とお互いの見守りを兼ねて、ラジオ体操や元氣アップ体操を続けよう
- 誰もが住み慣れた地域で住み続けられるような仕組みを考えよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 各サロンで避難訓練を実施しよう
- 地域の団体などと協力し、防災・防犯意識を高める活動を実施しよう
- 災害を想定し、地域の福祉事業所や企業に校区福祉委員会活動を知らせてもらい、つながりを深めよう

藤が尾小学校区福祉委員会

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

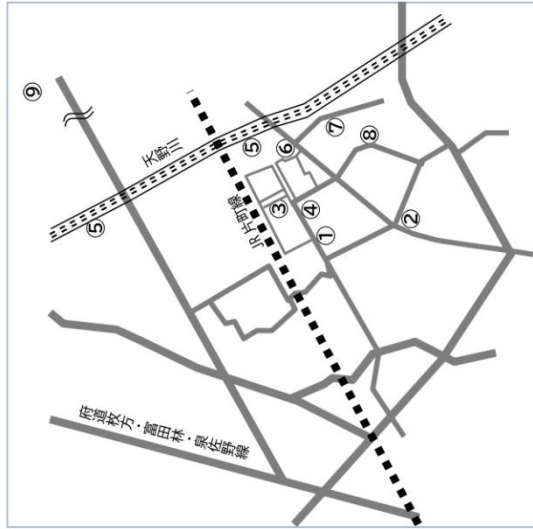
市の中央部に位置し、近年では、宅地開発がすすみ、新しい戸建も増加傾向にある。自治会よりも組織、地縁、意識ともに「テラス」「公社」「団地」の属性が中心で、福祉関係施設が多いのが特徴であり、日頃から連携を図っている。

地域住民の状況

(令和3年9月1日現在/人口・世帯数は令和3年8月末日現在)

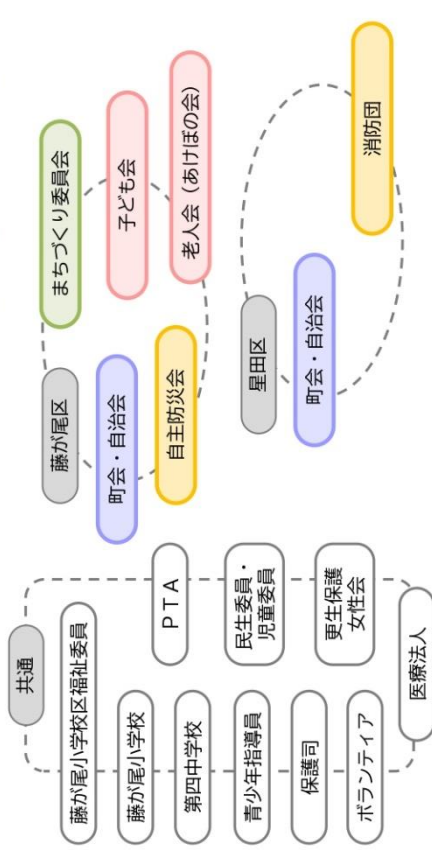
人口	4,969人	世帯数	2,192世帯
高齢者人口	1,442人	要介護(要支援)認定者数	242人
高齢化率	29.0%	身体障害者手帳所持者※	102人
6歳以下人口	268人	※身体障害者手帳は1・2級のみ	
小学校児童数(7~12歳)	279人		

地域の拠点マップ



- 《拠点等》
- ① 藤が尾ふれあい会館
 - ② 小じが丘保育園
 - ③ 府宮団地集会所
 - ④ 藤が尾会館
 - ⑤ 天野川緑地
 - ⑥ 府宮団地第二集会所
 - ⑦ 特別養護老人ホーム 天の川明星
 - ⑧ 公社集会所
 - ⑨ 地域活動支援センター みのり

地域の組織図



現在の校区福祉委員会の取り組み

名称	内容	対象者	日時
ふれあいサロン	出前講座、輪投げ等	高齢者	毎月第1金曜日 10:00~
子育てサロン	紙芝居、工作など	未就学児・保護者	毎月第1火曜日 10:00~
ピンポンサロン	ピンポンを楽しむ	地域住民	毎月第1・3木曜日
喫茶「陽だまり」	喫茶でおしゃべり	地域住民	毎月第3木曜日
一人暮らし高齢者懇談会	食事会・映画会・医療セミナー	高齢者	年1~2回
なごみの部屋	よろず相談	高齢者	毎月第1木曜日
反愛訪問	見守り・安否確認	地域住民	適宜
あいさつ・声掛け運動	登校時の見守り	地域住民	月~金曜日
世代間交流	・サマーフェスティバル ・グラウンドゴルフ	・もちつき交流会 ・防災訓練	など



▲朝のあいさつ、声かけ運動



▲夏の居場所「寺小屋」



▲よろず相談「なごみの部屋」

私たちの地域

地域のよいところ

- 利便性：スーパー、学校、医療、銀行も近く、坂も少ないので高齢になっても住みやすい。
- 地域のつながり・自治組織：近隣は顔見知り。交流が多い。
- 住民活動が団結している。
- 障がいのある人と地域との交流機会がある。
- 日頃から子どもの登下校の見守り、あいさつや声かけ等をお大切だと感じている人が多い。

地域のあったら良いな・できたら良いな

分野	あったら良いな・できたら良いな
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ○困ったことがあれば相談できて解決策等、助けてもらえたらありがたい。(個人情報保護は厳守で) 趣味の教室など、年配の方が孤立せず、何かに打ち込める場所が増えるといいな。 ○子どもたちとの交流の場があるといいな。 ○地域の相談窓口があるといいな。 ○ボランティアが盛んになったらいいな。プラスのイメージになって、参加しやすくなるシステムができたらいいな。 ○高齢者が気軽に参加できる活動があればいいな。 ○小学校をベースにした地域連携活動。もっと開かれた小学校であってほしい。 ○小学校が地区のポンド(接着剤)みたいになってくれたらいいな。 ○星田駅裏の開発によって児童が増えるので、広がった地域と今までの地域とが分断されないような、何か一緒にできる場所があったらいいな。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校、中学校、自治会と役がまわってきてもその場の付き合いで終わってしまふ。地域の活動にその後協力してもらえよう、子育て世代の時から地域とつながるシステムを、市で作ってもらえるといいな。 ○障がいのある人への理解がもっと深まるといいな。見た目ではわからないけど、困っていることが多く、支援や理解が必要である人もたくさんいる。 ○学校に地域の方が集まれる場所を作って、普段から子どもたちと関係を結んでおく。授業のお手伝いに来てくれるとうれしいな。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の福祉課題の中に、退職後の活動の場が少ないとあったので、子どもが下校時の横断歩道の見守りを手伝ってもらいたいな。子どもたちにとっても顔を知っている大人の方が増えるのは良いと思う。朝の登校時の見守りをして下さり安心して子どもを任せられる。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが遠慮することなく、ボール遊びや鬼ごっこができる場所があればいいな。
暮らし・防災	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯情報の共有、不審者情報。

私たちのアクションプラン

藤が尾小学校区の目標

地域のつながりを深め、障がいの者や高齢者、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりをめざします

私たちのこれからの取り組み

基本方針1 福祉のこころを育む

- 地域であいさつ・声かけ運動を継続し、見守りの輪を拡げよう
- もちつき大会、しめ縄づくりなどの伝統行事を守り、地域の良さを実感できるような取り組みを行い、郷土愛を育もう

基本方針2 ともに解決する仕組みをつくる

- よろず相談「なごみの部屋」を広く知ってもらい、気軽に相談できる場所にしよう
- サロンの参加者名簿を作成し、見守り・安否確認につなげよう
- 地域の医療機関、福祉事業所などの協力を得て、勉強会を開き、サロンの活性化や近隣で気軽に相談できる場所につなげよう

基本方針3 幅広い地域福祉活動の担い手の発掘・育成を行う

- 障がいのある人や高齢者が気軽に参加できる活動をしよう
- SNSなどを活用して、校区福祉委員会の活動を多世代に知ってもらおう
- 小・中学生が校区福祉委員会活動で活躍できる仕組みをつくろう

基本方針4 自分らしい生き方を支援する

- 高齢者の交流できる場をつくり、見守り合える関係づくりにつなげよう
- 夏の居場所「寺小屋」を継続し、多世代交流や相談、見守りにつなげよう
- ピンポンサロン、ラジオ体操などを通して、多様な人との交流や健康維持に努めよう

基本方針5 地域を基盤とした防災・防犯活動を行う

- 各区や消防団、地域の福祉事業所などの協力を得て、防災・避難訓練などを行い、つながりを深めよう
- 子どもから大人まで、全世代を対象とした、防災・防犯意識を高める取り組みをしよう

アクションプラン策定を終えて
～校区福祉委員会委員長ひとことコメント～

【倉治】
梅本雅明委員長

地域社会の変化に対応し安心して暮らすため、多様性を持つ人達が相互の垣根を越え協力・補完しながら、マイタウン・倉治をめざします。

【郡津(郡津)】
松本信義委員長

校区福祉活動のあるべき姿“地域住民への福祉向上をめざす”ことをデザインしつつ“現有チーム力とのギャップ”への対応が待ったなしを痛感しました。

【交野みらい】
(旧交野)
奥野幸一委員長

収束が見えないコロナ禍での地域活動の在り方について、新たな課題も見えてきた今、withコロナ時代の取り組みを考えていくことの重要性を痛感しました。

【郡津(松塚)】
青田和彦委員長

ITやスマホ等を利用して情報の共有ができ、次世代につながる仕組みづくりに取り組みたいと思います。

【郡津(幾野)】
池川辰男委員長

校区内で活躍している人や団体など、多くの方たちから幅広く意見を集め、アクションプランではできる限り具体的、客観的な言葉でまとめました。次は、実行です。

【星田】
向井昌博委員長

地域の各団体との結びつきをしっかりとしたいものにしていきたいと思います。そして個々の結びつきが強まるように。

【旭】
小西祥夫委員長

福祉のこころを育み、地域の困りごとを解決し、支え合う仕組みを確立して、赤ちゃんからお年寄りまでがいきいきと安心して暮らせるまちづくりをめざします。

【妙見坂】
久保幸子委員長

校区内の4地区の良いところや課題を考慮しつつ、「お互いさま」の気持ちで、これからの時代に沿った新事業も組み込んだ素晴らしい基本方針ができました。



(後列左から)
池川さん、梅本さん、松本さん、奥野さん、青田さん、向井さん
(前列左から)
小西さん、大河内さん、大西さん、山口さん、西岡さん、久保さん

【岩船】
大河内孝子委員長

地域の方のご好意で栗林を提供いただきました。第4期は新しい世代間の事業が展開できそうで、楽しみです。

【私市】
大西幸夫委員長

一人ひとりが穏やかに過ごせますよう、みなさまで「お互いさま」の想いを大切に、温かく住み心地のよい地域にしましょう。

【藤が尾】
山口利子委員長

向こう三軒両隣を大切に多様な世代のつながりをつくり、見守り支え合える温かい地域づくりをめざします。

【交野みらい】
(旧長宝寺)
西岡昭榮委員長

地域懇談会での意見から「幅広い世代の交流を」との期待を感じました。いつも笑顔で近隣とのつながりを深め、地域福祉の推進に微力ながら貢献できればと願っています。